

## 第3回（仮称）もみじ台地域まちづくり指針検討委員会 議事概要

### 日 時

令和5年（2023年）2月13日（月） 10時00分～12時00分

### 場 所

厚別区役所 2階大会議室（札幌市厚別区厚別中央1条5丁目3-2）

### 出席者

#### <検討委員会委員>（順不同・敬称略）

北星学園大学 経済学部 経営情報学科 教授	鈴木 克典	委員長
札幌学院大学 人文学部 人間科学科 准教授	新田 雅子	委員
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長	小高 咲	委員
(株)Localize 代表取締役	庄田 健助	委員
(株)ホクノー 代表取締役社長	野地 秀一	委員
札幌もみじ台西郵便局 局長	杉下 圭史	委員
SOC(株) 代表取締役社長	朝倉 由紀子	委員
もみじ台自治連合会 会長	東 健二郎	委員
もみじ台まちづくり会議 副議長	高澤 英治	委員
あつべつ区民協議会 委員	二峰 章	委員
もみじ台市営住宅自治会連絡協議会 会長	須貝 淑郎	委員

#### <事務局>

札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課	調整担当課長	林 久哲
〃	調整担当係長	大宮 弘之
〃	調整担当係	山本 郁也

### 配布資料

- 会議次第
- 資料1 （仮称）もみじ台地域まちづくり指針検討委員会 委員名簿
- 資料2 第3回（仮称）もみじ台地域まちづくり指針検討委員会 座席表
- 資料3 （仮称）もみじ台地域まちづくり指針（素案）の概要について

## 議事概要

### 1 開会

開会あいさつ

### 2 事務局説明

事務局より、資料3に基づき、第2回検討委員会の振り返り、(仮称)もみじ台地域まちづくり指針(素案)の概要について説明。

### 3 意見交換

#### <高澤委員>

- 北海道ボールパークの開業に伴いもみじ台通りの交通量が増加する可能性があることから、今後、道路を見直す必要があるのではないか。
- 閉校したもみじ台南中学校の跡地は、有効活用が期待される。今後のまちづくりの取組は長期にわたると思われるが、その中では比較的着手しやすいのではないか。
- もし今後、同校跡地周辺のパークゴルフ場などが使用されなくなった場合、より広い面積の土地の活用可能性が生まれると思う。

#### <事務局>

- もみじ台通について、北海道ボールパーク開業後の交通の流れがどのようになるのか現時点で見通せない。今後の交通の状況をみながら、もみじ台のまちづくりに影響がある場合などは考えていく必要があるかもしれない。
- もみじ台南中学校の跡地活用については、まちづくりの取組の中でも比較的早期に検討できるだろうと考えている。また、他に同様の土地があれば、まちづくり指針において今後の方向性を整理した上で、できるところから検討を進めたいと考えている。

#### <東委員>

- もみじ台地域の土地利用再編にあたり、テクノパークとの連携や職員が居住できるような住宅を求める住民意見もあったが、今回示された指針の概要ではあまり触れられていないように感じる。
- コンビニは利便性の高い施設だと思うが、現状、もみじ台地域に立地する店舗は2軒のみである。土地利用上の規制があることは理解しており、今後、土地利用再編を進める中で幹線道路沿いに生活利便施設の立地を認める規制緩和についても検討してほしい。

#### <事務局>

- テクノパークとの連携はもみじ台地域のまちづくりにおいて重要な要素だと考えている。今後は、テクノパークの従業員の方も含めた様々な方が住みやすい多様な住まい方ができるまちの形成を目指していきたい。資料3の3ページに、「4-3 土地利用再編イメージ①魅力創造エリア」で示している「多様な暮らし方ができる魅力ある機能」の一例として住宅と記載しているとおり、公共施設跡地での共同住宅の建設等についても検討していきたい。

- コンビニをはじめとする生活利便施設の立地については、今後、民間事業者の意見等も聞きながら検討する考えである。

#### <鈴木委員長>

- テクノパークについては、職住近接の視点や、学びに関する取組の中で連携が進むと良いと思う。

#### <庄田委員>

- 資料3の3ページの「4-3 土地利用再編イメージ①魅力創造エリア」について、新さっぽろ駅に近いことなどを理由に設定していることは理解できる一方で、道路や市有地の状況等を考慮した際に、利便性が高く価値が高い場所を提供できるエリアとして適しているか疑問である。
- 魅力創造エリアは、どちらかと言えば、地域の北側よりも「4-3 土地利用再編イメージ②にぎわい交流エリア」の位置が適していると思う。義務教育学校の候補地や熊の沢公園などがある地域の中心部に、地域の価値を高める魅力的な機能を集積させるのが良いのではないか。

#### <小高委員>

- エリア設定については、誘導する機能のイメージは地域が要望するものと概ね一致しており、あとはより分かりやすいエリアのネーミングを検討する余地があると思う。
- もみじ台南中学校の跡地について、高澤委員が仰ったとおり、周辺のパークゴルフ場等の土地と合わせた有効活用という視点を持つことは重要だと思う。

#### <東委員>

- 義務教育学校が設置されれば、もみじ台中学校やもみじの丘小学校が閉校となるため、これらの学校の跡地についても地域の活性化につながる活用を図ることが重要だと思う。
- 今後、リモートワークが一層増えると思うので、リモートワーク向けの執務スペースを設けることも検討してはどうか。若い世代に対する魅力の一つになり得ると思う。

#### <朝倉委員>

- テクノパークでは、職場の駐車スペースの都合上、公共交通を利用して通勤している職員もいるので、職場近辺に居住できる場所があると良い。また、単身者が多いので賃貸住宅などの住まいも確保できると良いと思う。
- リモートワークの需要が増えていると思うので、商業施設や飲食店、公園と隣接したコワーキングスペースがあると良い。若い世代が集まることで交流も生まれると思う。
- 学校の授業でプログラミングを学ぶ機会もあるが、実際に会社を訪問しないと感じられないこともあるので、訪問先としてテクノパークの企業を活用してもらいたい。子どもたちと交流することは職員にとっても良い刺激になると思う。

#### <高澤委員>

- 資料3の2ページの「3-3 目標 目標③9) 交通利便性の確保」については、もみじ台まちづくりビジョンにもコミュニティバスの運行等として記載しているとおり、もみじ台地域では高齢者が今後一層増加すると思うので、非常に重要な視点だと考えている。
- 交通利便性の確保について、現時点で具体的な取組についての計画があれば教えてほしい。

#### <事務局>

- 交通利便性の確保は重要な視点であることから、方向性の一つとして位置づけている。指針策定後、需要や交通の現状等について確認しながら検討を行っていききたい。

#### <高澤委員>

- バスの運行本数が以前よりも減少しており、また、地域内に坂が多く、バス停に行くことさえも大変だという住民もいるようだ。これらの点も踏まえて検討してほしい。

#### <鈴木委員長>

- バス停までの坂道や階段を考慮した分析もされてきている。今後、具体的な検討にあたっては、地域の実情や住民の声を把握しながら進めてほしい。
- 「4. その他」で話題提供された官民データ流通促進基盤の利活用促進に向けた調査研究の取組とも関連し、交通利便性について総合的な視点で分析が行われると良い。実証実験やモデル事業を行える可能性がある地域だと思う。

#### <須貝委員>

- テクノパークがもみじ台地域の住環境について技術的な視点で検討し提案いただけると地域が明るい方向に向かうのではないかと。例えば、もみじ台地域を高度な技術活用による利便性が高い地域に変えていく方向性を掲げて、スーパーの商品をオンラインで購入したり、建物内にシューターを設けてゴミの収集が行われるようになることなどが考えられる。
- 地域では、義務教育学校設置に関することが注目されており、本委員会で検討しているまちづくりの方向性に関する全体像が浸透していないように感じる。
- 義務教育学校設置はまちづくりにおける取組の一つであり、まちづくりの背景やもみじ台地域のまちづくりの全体像を正確に伝えて理解してもらうことが重要だと思う。

#### <事務局>

- 本委員会における検討内容については、まちづくりニュースの回覧により地域へお知らせしているところである。
- 年度明けに住民意見収集の機会を設けることを検討しており、意見収集にあたっては、本委員会で検討しているまちづくりの背景や全体の方向性を示す予定。その中で、取組の一つとして義務教育学校設置の検討状況も示したいと考えている。
- 市営住宅の建替えを含むまちづくりの取組の実施は比較的長期に渡ると見込まれる中で、義務教育学校の設置については、地域の要望と札幌市が掲げる方針が一致していることもあり、まちづくりが始まるきっかけにしていきたいと考えている。

- 義務教育学校の取組を検討する上で、設置候補地にお住まいの方々にあらかじめ検討状況を説明するため、昨年 12 月に住民説明会を開催したところであり、今後も、地域住民の意見等を伺いながら丁寧に進めていきたいと考えている。

#### <朝倉委員>

- テクノパークによる技術的な検討について、各社それぞれに得意分野があるものの、互いの事業内容を共有できていないのが課題なので、今後は各社の連携を強めていきたい。
- 今後、生活を便利にしたり、地域の安全に寄与するなど、住民の未来のためにできることを考えていきたい。

#### <杉下委員>

- 資料 3 の 2 ページの「3-3 目標 目標③11) 災害への備え」の中に地震や雪に関することが含まれていると思うが、特に雪の対策について強調できないだろうか。例えば、民間企業や大学と連携して取り組むエリアを、ゾーニングの中で示してほしいと考えている。

#### <事務局>

- 雪の対策については、指針の中で具体的な取組を示すことは難しいため、まず「3-3 目標 目標③11) 災害への備え」という方向性を示した上で、指針策定後、民間事業者等の協力を得ながら、雪も含めた災害に強いまちづくりに向け検討していきたいと考えている。

#### <東委員>

- 地形的には融雪溝を設置しやすいと思われる一方で、融雪溝の使用にあたっては大量の水を必要とすることから、実際の設置は容易ではなく、十分な検討が必要だと思う。
- もみじ台団地の造成にあわせて導入された地域暖房による熱供給のあり方については議論が必要だと考えているが、今後の展望はどのように考えているか。

#### <事務局>

- 今後のまちづくりにおいては、環境への配慮の視点も不可欠であることから、「3-3 目標 目標③」で方向性の一つとして掲げているところ。これに関わる取組の一つである地域暖房についても、指針策定後の土地利用再編の具体的な検討に合わせて、その在り方について検討を行う必要があると認識している。
- 雪の対策については、もみじ台地域は当初から積雪寒冷という特性を踏まえて計画されており、幹線道路は 4 車線で比較的幅員が広く、また、地区計画によりゆとりある住宅敷地が確保され、堆雪スペースとして活用できることは強みと言えると考えている。今後に向けては、跡地活用や公共施設の再編に合わせて検討していきたい。

#### <二峰委員>

- 将来に向けて夢がある目標を挙げている一方で、人口減少が一層進むと考えられる中、例えば、札幌に官公庁の大きな施設などを誘致するといった転機がなければ、現実的には厳しい面もあると感じている。

- 人口が集中するのは駅から1 km 圏内と言われているが、もみじ台地域は新さっぽろ駅から約3 km離れていることから、地域内で必要な機能を賄えるようなまちとして完成させる必要があると感じている。
- 先ほど、テクノパークの駐車場が不足しているという話があったが、土地が不足しているのであれば、今後のもみじ台地域の土地を活用していただくのはどうか。
- 義務教育学校については、児童生徒数や教員数の都合上、広く推進されていることから、ただ義務教育学校を設置するだけでは他の地域と同じであり、児童生徒数が増えるきっかけにならないと考えられるため、特徴ある学校づくりを進める必要があると思う。例えば、岡山県総社市では、特別な英語教育を行う英語特区を設けて、全ての授業を英語で行うなど特徴的な取組を行っている。もみじ台地域の場合、テクノパークの職員が学校に出向いてパソコン学習を提供することなども考えられると思う。

#### <庄田委員>

- 二峰委員の意見のとおり、まちとして魅力となるもみじ台地域ならではの特徴を考える必要があると思う。
- 他自治体の事例では、入札で事業者を選定した結果、他と同じような公園、団地ができるということが度々起こっているように感じる。一方で、地域によっては、公共事業によるものとは思えないような魅力的な施設もみられる。このような公共事業における共通点は、地域の方々と施設等のデザインについて協議する会議を設置して、デザインイメージを検討した上で仕様書を作成し、プロポーザル等によって事業者選定していることである。
- 指針にデザインに関する協議体の設置といった具体的なことまでは記載できないと思うが、今後のまちづくりにおいてデザインを重要とする文言を入れることで、実現したいまちづくりにより近づけるのではないかと思う。

#### <鈴木委員長>

- 札幌市においても、より良い事業者に担ってもらえるよう、プロポーザル方式を採用している例がみられるようだ。今後、具体的な検討を進める中でこの点についても考慮していけると良いと思う。
- 資料3の3ページの「4-3 土地利用再編イメージ」におけるエリア名称のキーワードについて、何かご意見があれば伺いたい。

#### <須貝委員>

- いかにより様な世代の人が集まってきたいまちにするか。特色ある魅力づくりに向けたアイデアを各委員に募ってはいかがか。

#### <東委員>

- もみじ台まちづくりビジョンでは、大きな括りで考えた際の将来像として「ベッドタウンから活力と風格のあるニュータウンへ」と記載している。このように何らかいイメージがわく文言があるとよい。
- 地域住民としては良い環境を維持してほしい一方で、活力が生まれる取組を望んでいる。

#### <事務局>

- エリア名称の検討にあたっては、これまでいただいた意見や目標を考慮したほか、地域の方々が意見を出し合って作成されたもみじ台まちづくりビジョンを参考にしている。
- 「4-3 土地利用再編イメージ①魅力創造エリア」は多様な世代を呼び込むエリアのイメージであり、もみじ台まちづくりビジョンでは同範囲のエリアを「活力・共生ゾーン」としている。先ほどのご意見を伺い、活力という視点も含まれるかもしれないと考えているところである。

#### <鈴木委員長>

- 今後、エリア名称についてキーワードやネーミング案があればご提案いただきたい。

#### <新田委員>

- 「4-3 土地利用再編イメージ①魅力創造エリア」について、もみじ台中学校が立地する場所は地域の入口であり、地域の顔となるような場所であり、また、このエリアには特に古い団地があり、比較的早い段階で見直しが行われるものと考えられるので、このエリアでどのようなまちづくりを行っていくのかという点は非常に重要だと思う。
- 魅力創造エリアには、特別養護老人ホームや星槎もみじ中学校、星槎国際高等学校もあり、他のエリアとの差別化も考慮すると、活力に加えて共生という視点も重要視すると検討を進めやすいと思う。

#### 4 事務連絡

- 本日の議事内容については、委員への確認の上、後日ホームページで公表する。また、まちづくりニュースを作成し、地域の方々にもお知らせする予定。
- 次回の検討委員会は、令和5年6～7月頃の開催を想定。今回の検討委員会の内容および地域からの意見収集結果を踏まえて、まちづくり指針の素案を取りまとめて提示したい。